

SDGs取り組み事例 ～Eグループ～



株式会社マルセイ

業種

- 段ボールの製造・販売
- デザイン企画・制作

業務内容

顧客の使用用途に応じた段ボールの制作、デザインの提案。
段ボールパレットや、段ボールゴミBOX等、様々な段ボールの制作。
(段ボールゴミBOXは、岸和田だんじり祭りなどでも使用されている)



自社が既に取り組んでいるSDGs



工場内写真

- 段ボール裁断時に発生する端材を工場内の天井裏のダフトを通して、写真のようなピットにため込まれる仕組みをされている。
- この発生した端材は、決まった自治体が回収し、再度段ボールを制作する際に使用される。
- 90%再生資源として使用。10%産業廃棄物へ。



これからのSDGsとしての目標



- 段ボール業界では、FSC認証（森を守るマーク）といわれる認証制度が存在する。
- FSC（Forest Stewardship Council®、森林管理協議会）は責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする、独立した非営利団体であり、国際的な森林認証制度を運営しています。
- 環境保全の点から見ても適切で、社会的な利益にかなない、経済的にも継続可能な森林管理を理念とし、森林が急速に破壊されている状況を背景に、1994年、環境団体、林業者、林産物取引企業、先住民団体などが中心となって設立されました。

© Forest Stewardship Council®・FSC® F000218 引用

マルセイにとってのFSC認証

- 他企業のHPを参考にSDGsとしての取組みで「FSC認証を受けた段ボールでの材料調達」という事を提唱している企業が多い。
- FSC認証を受けている材料と受けていない材料とで作る側・使う側にどのようなメリットが生じるものか。
- 認証取得している材料を受注して制作を行う事によるコスト面が掛かる。
- FSC認証取得後の運営費(5年に1回の更新費100万円、毎年20万円の年会費)

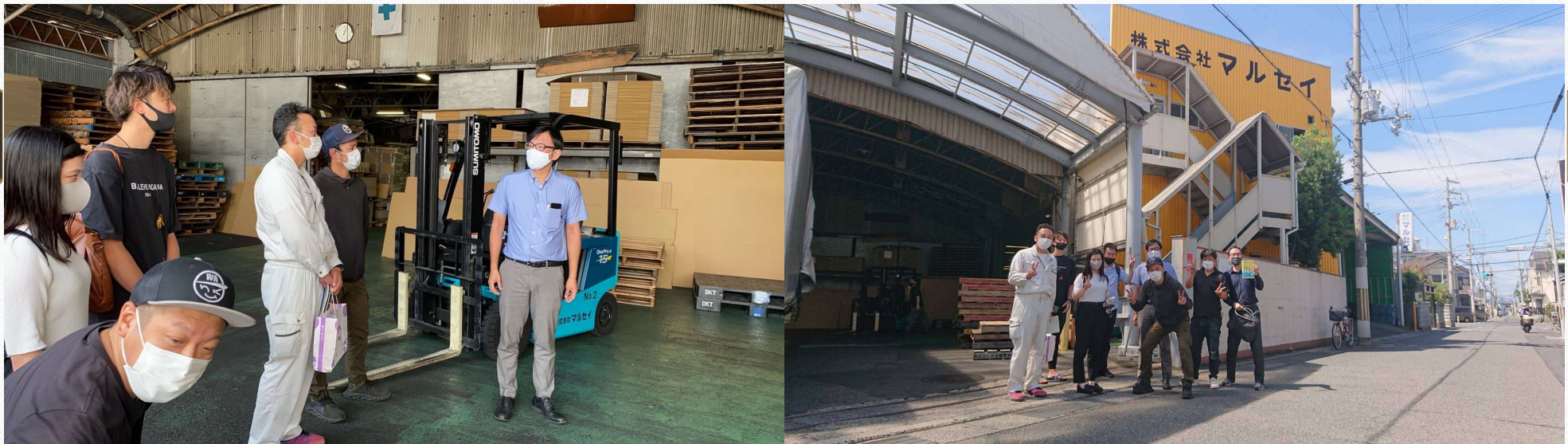
メリットがデメリットを上回る事

- 使う側としては段ボールとして使用できれば、問題がない。
- 自社が再生可能商品を扱って営利しているため、環境や森林保全に興味がないというわけではない。
- FSC認証取得には壮大な費用が掛かる為、認証取得には慎重になって会社全体で実務的にメリットを生み出して運用できるかを検討している。

End...

- SDGsを取組む中でFSC認証取得を受けるメリット・デメリットが存在することで認証を受けていない会社からの材料発注は行わないとする動きがあるなら、現段階で少し行き過ぎたSDGsではないのかと感じる。
- FSC認証取得は、取得している＝信用という側面はあるが、それ以外としてメリットを生み出していく必要がある。
- 異業種に触れることが出来、それぞれの分野で色んな課題が存在すると感じ、良き体験をさせてもらった。

会社見学会 ～見学会と美味しいプリンを ありがとうございました～



参考HP

